

みしま MISHIMA SHIGIKAI DAYORI

市議会だより



百日紅(サルスベリ)と空

CONTENTS

6月定例会 議案審議の概要	2
一般質問	5
議会ってなあに？	12
三島市議会の会派の紹介	14
令和5年度表紙写真募集	15
議会報告会のお知らせ	16

裏表紙を
ご覧くだ
さい!

令和5年 6月定例会

6月6日～6月22日
会期:17日間

●今回の議案は…

市長提出議案 13件
議会提出議案 1件

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 1
議第47号
【令和5年度三島市一般会計補正予算(第4号)】(全会一致)
■補正予算額
4億6,594万7千円

Pick up 2
議第48号
工事請負契約の締結について
(仮称)三島市公営住宅藤代住宅B棟建設工事(全会一致)

Pick up 3
陳情第1号
公共施設である庁舎内において政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

すべての議案と結果などの
詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。

三島市議会 検索

Pick up 1
一般会計予算を
増額補正

地域の活性化を目指します

伊豆ファン倶楽部事業
998.9万円

伊豆に関わる人々(伊豆ファン)を増やし、消費の活性化を図るため、三島市、熱海市、函南町の2市1町が連携して事業を実施します。マイナンバーカードを活用してエリア内の施設などで、ポイントや割引が利用できる、伊豆ファンパスポートを発行するための経費を計上します。

主な質疑
質疑 三島市・熱海市・函南町の2市1町の連携になった理由は。

答弁 最終的には伊豆全域の取り組みとして、13市町全ての自治体に参画していただくことを目指しているが、デジタル庁からアドバイスを得たのが令和4年12月だったため、全自治体に説明する時間が足りず、初年度は、直ちにご理解をいただいた2市1町でスタートすることとなった。

質疑 伊豆半島のその他の市町の参加は。
答弁 デジタル庁の力添えを得ながら、伊豆エリアの市町に継続して説明の機会を設けている。また、美しい伊豆創造センター事務局からも、方向性については

【歳出の主な内容】

- 佐野あゆみの里管理運営事業 440万円
- 生活保護運営対策事業 297万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 3億1,240万6千円
- 新規就農者育成総合対策事業 300万円
- 国指定重要文化財燻蒸事業費補助金・国指定重要文化財等補修事業費補助金 257万7千円

バーカードの活用機会と、新たなサービスの創出を行うことができるものと考えている。

Pick up 2
議第48号

工事請負契約の締結

昭和44年から昭和45年にかけて建築された市営藤代住宅S棟およびN棟について、建築後53年以上が経過し、建物が老朽化していることから、バリアフリー化など住環境の改善を図りつつ、B棟として建て替えるための工事請負契約を締結します。

質疑 予定価格の積算根拠について。
答弁 直接工事費の算定における一般的な工種は、静岡県の建設資材等価格表を参考とすることで、市の積算単価を算出し、その単価を使用しているが、価格表にないものについては、建設物価資料の掲載価格や市場単価も用いている。エレベーター工事や杭工事などの特殊な工種においては、三島市建設資材等の見積徴取に関する取扱に従い、複数社から見積もりを徴取し、その最低価格を採用している。

また、共通費の算定においては、公共建設工事共通費積算基準などにより共通仮設費、現場管理費および一般管理費等を算出している。なお、直接工事費と共通費を合算したものが工事価格となり、その算出額を予定価格に設定している。

質疑 入居待機状況の改善の見込みは。
答弁 新たに建設される55戸に対し、解体前の藤代住宅S棟およびN棟に入居され、仮移転している14世帯の方には優先して入居して

賛同をいただいている。この事業は伊豆全体に広げてこそ強い相乗効果が得られるものであると考えており、活動エリアの拡大に向けて取り組んでいく。なお、後から参加する市町の費用負担については、既に一度支払いが確定した過年度のシステム開発等の初期費用を、さかのぼって国の交付金の支出の対象とできないため、次年度以降に参加する他の自治体から初期費用を直接回収することは交付金の制度的に困難とされている。

具体的な費用負担については関係自治体と今後協議をしていく。

いただくこととなる。また、今回の事業により、統合を予定している市営山田住宅D棟には、現在7世帯が居住しているため、仮に全ての世帯が藤代住宅B棟に入居を希望した場合、一般に公募できる残りの藤代住宅B棟の部屋は34戸となり、待機者の状況は相当改善されるものと考えている。



市営藤代住宅B棟完成予想図

Pick up 3
陳情第1号

委員会に付託

公共施設である庁舎内において政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情が提出さ

質疑 マイナンバーカードを活用する理由は。
答弁 マイナンバーカードにより本人確認ができること、簡単に会員登録ができること、またかざすだけで簡単にサービスを受けられることなどが、事業に必要な仕組みとなっている。また、事業費の3分の2が補助される国の交付金の対象となるため、マイナンバーカードの新規用途の開拓が必須要件の一つとなっているためである。

今後のデジタルを活用した行政サービスの推進の上でも、この事業は社会インフラの基盤となるマイナン



れ、議会運営委員会に付託となりました。閉会中に審査を行い、9月定例会で委員長が審査の結果を報告します。

◆人事議案

○三島市農業委員会委員の任期が令和5年7月19日に満了となることに伴い、新たな委員を選任することに同意しました。

細井 憲子氏	望月 正己氏
佐藤 操氏	山本 一喜氏
高橋 徹司氏	梶 公彦氏
杉本 光信氏	榎 克裕氏
小川 佳彦氏	榎 均氏
内藤 尚子氏	増島 高宏氏
鈴木 博嗣氏	下里 勝氏

○組合議会議員の補欠選挙を実施しました。

- ・箱根山御山組合議会議員
- ・箱根山殖産林組合議会議員
- ・箱根山禁伐林組合議会議員

当選者 横山 雅人

令和5年 5月臨時会

5月15日

〈議第46号〉
令和5年度三島市一般会
計補正予算(第3号)

みしま市議会だより臨時号(6月1日号)で掲載したとおり、5月15日に開催した臨時会では正副議長の選挙、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任が行われました。

また、三島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分のほか、食費等の物価高騰の影響を特に受けている低所得の子育て世帯を支援するための補正予算についての専決処分を承認しました。

その他、国の交付金を活用し、電力、ガス、食料品等の価格高騰に対応するための支援および低所得世帯への支援を実施するための費用を増額する予算案が上程され、可決しました。

◆監査委員の選任

議会から選出される監査委員について、川原章寛議員を選任することに同意しました。

※全ての議案が全会一致となりました。

5月臨時会 議決結果

議案番号	件名	結果
議第45号	三島市監査委員の選任について	同意
承第2号	専決処分の報告及び承認について(三島市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認
承第3号	専決処分の報告及び承認について(令和5年度三島市一般会計補正予算(第2号))	承認
議第46号	令和5年度三島市一般会計補正予算(第3号)	可決

※全ての議案が全会一致となりました。

6月定例会 議決結果

議案番号	件名	結果
議第47号	令和5年度三島市一般会計補正予算(第4号)	可決
議第48号	工事請負契約の締結について((仮称)三島市公営住宅藤代住宅B棟建設工事)	可決
議第49号	市道路線の廃止について	可決
議第50号	市道路線の認定について	可決
議第51号	三島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	可決
議第52号	三島市都市計画税条例の一部を改正する条例	可決
議第53号	三島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議第54号	三島市手数料条例の一部を改正する条例	可決
議第55号	三島市印鑑条例の一部を改正する条例	可決
議第56号	三島市総合福祉手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第57号	三島市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第58号	三島市農業委員会委員の任命について	同意
議第59号	令和5年度三島市一般会計補正予算(第5号)	可決

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。

18人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

子育て世帯が住みたくなくなる市営住宅への改善

Q 柳郷地住宅は空室20室、山田住宅も入居率約5割である。これら子育て世帯向けに、そこに住みたくなくなるような改善ができないか。

A 三島市公営住宅等長寿命化計画に基づき、両住宅の改善にあたり、近隣に保育園や小学校等が立地する地域特性を生かし、子育て世帯の入居促進ができる間取りや、ゆとりある生活空間の確保等、これまでの改修の成果や知見も活用し、今後の方針を検討していく。

兄弟の同一保育園入園への配慮をすべき

Q 入園申し込み後、利用調整指数表をもとに世帯の点数を決めるが、兄弟が同じ園に通えるようにしつつその兄弟加点ができないか。

A 入所調整で使用する保育所等入所選考基準表では、申し込み児童の兄弟姉妹が希望園に在園している場合は加点があり、一定の配慮をしている。現在、この基準表の見直しを行っている。現況の加点が十分なのかの検証も含め、見直し案の検討を進めていく。



村田 耕一
(公明)



他の質問事項

大規模災害時の重傷者の救急搬送



Q 看板は必要とする市民からの申し出により渡しているが、その際、状況の改善が見られた場合の撤去や、劣化した看板については新しいものに交換するなどの管理を、引き続きお願いしていく。

犬猫のマナーアップ看板(屋外広告物)管理

Q 公園や歩道の周辺の犬猫糞の始末注意等の看板が、文字が薄れ、壊れて危険な状態で放置されている。適正管理できないか。

A 学校規模の適正化の検討は様々な要素が絡む困難な課題だが、地域づくりと一体になった社会総がかりによる教育の推進という観点を踏まえて、三島市の教育のあり方を、地域の実情や関係者の意見を十分に考慮しながら、今後、検討していく必要があると考える。

少子化による三島市の教育の在り方の検討

Q 出生数が10年前から43%減少し、1学年1クラスになる学校の増加が予想される。教育の在り方を学校の配置も含めて検討すべきではないか。



野村 諒子
(緑水会)





古長谷 稔
(改革みしま)



防災対策における共助の強化の方向性

◎ 初動対応が重要となる自主防災本部の立ち上げや初期消火、救出救助など班別の自主防災活動訓練の必要性の認識について伺う。

▲ 災害時の地域の情報収集、初期消火、避難誘導、救護等を行う活動班と、それを束ねる自主防災本部の立ち上げは、災害時において非常に重要なポイントであり、自主防災本部の立ち上げ訓練や、活動班ごとの訓練を繰り返し行うことの必要性は十分認識している。



各自治会がつくる地区防災計画の現状と今後

◎ 三島市地域防災計画に正式に位置付けられる地区防災計画だが、取り組みの現状と今後いつまでにどこまでの策定を目指すのか伺う。

▲ 三島市では自主防災組織事務説明会等で地区防災計画作成の周知を行っており、現時点で8地区が計画を作成している。地区防災計画は地域コミュニティの防災活動の基盤として機能するため、将来的には全ての自主防災組織での計画作成につなげたいと考えている。



秋山 恭亮
(改革みしま)



西間門新谷線建設事業および沿線開発

◎ 西間門新谷線と交差する市道新谷18号線接合部に、信号取り付けの要望が市民から出ているが、見解を伺う。

▲ 西間門新谷線は、将来の予測交通量を踏まえ、設計速度60kmの4車線道路として計画している。交差する市道新谷18号線は、南北を結ぶ基幹的な農道として整備された経緯があり、通過する低速な農耕車両や歩行者の安全確保のため、警察へ信号機の設置を要望する。



三島市における自動運転バス導入

◎ 自動運転バスは、人的コスト削減・市民の利便性向上など大きなメリットがある。現在・近未来の実装に向けた取り組みを伺う。

▲ 現状では、自動運転バスはコストに見合うものではないが、将来を見据え、国の支援制度を活用した社会実験の実現を目指して、関係機関や事業者と協議を進めている。また、自動運転だけでなくデマンド交通などさまざまな移動手段の検討にも取り組んでいく。



宮下 知朗
(新未来21)



養護老人ホーム佐野楽寿寮の今後の在り方

◎ 入所者数減少に加え、年間約1億円の運営費を要する佐野楽寿寮について、今後の在り方を見直すタイミングと考えるが見解を伺う。

▲ 令和5年4月1日現在の入所者数が10名となり、5月に養護老人ホーム佐野楽寿寮のあり方庁内検討委員会を立ち上げ第1回目の会議を開催した。今後の在り方について改めて検討し、その後、有識者等による検討委員会も立ち上げていきたい。



スマート市役所実現に向けた今後の進め方は

◎ 行政サービスの利便性向上や新たな価値を創造するため、より積極的なDX推進を期待するが、今後どのように進めていくのか伺う。

▲ 令和5年度に策定するDX推進計画に基づき様々な施策を実施する。例えば、ライブイベントに応じた手続案内サービスの導入や生成AIやメタバースといった最先端技術を庁内業務やまちづくりを生かす研究など、新たな取り組みに積極的にチャレンジしている。

他の質問事項
三島市公共施設等総合管理計画の進捗状況は



本間 雄次郎
(維新と無所属の会)



三島駅南口東街区再開発事業

◎ 竣工後の運営主体の収支予想は三島市の手元に存在するのか。

▲ 住宅部分以外は、民間事業者による運営を前提にしているため、床を取得した事業者の民間活動となる。市は、竣工後の民間事業者の経営計画等を持ち合わせることはなく、公表する立場にないことをご理解いただきたい。

◎ 所有者、管理者が大変複雑に入り混じる事業だが、将来、建物の老朽化や経営不振が生じることが市はどのように想定しているか。

▲ 運営や管理については、責任の所在を明確にし、適切に維持管理していくものと承知している。今後の管理規約の検討に際しては、市が取得する市営駐車場として管理する部分などもあることから、しっかりと協議を行い、適切な管理規約となるよう努める。



河野 月江
(日本共産党議員団)



医療的ケア児とその家族への支援の充実を

◎ 障害児通所支援事業所利用時の訪問看護費用や通院・通所・通学交通費の助成を他市町で実施しているが、当市でも検討できないか。

▲ 医療的ケア児とその家族への市独自の支援策については、関係機関等と連携し、実態を把握していく中で、医療的ケア児の支援体制の整備と併せ、今後、他市町の状況等を情報収集、確認する中で、調査・研究に努めていきたいと考えている。



三島駅南口東街区再開発事業における工事費

◎ 再開発組合は工事費高騰への支援のための国の補助金活用を検討しているが、収支バランスの観点でどのような状況に直面しているのか。

▲ 再開発組合は*ECI方式等を活用し事業収支の精査を行っている。当該補助メニューは、工事費高騰による事業停滞等に対応するためのものであり、事業収支の改善につなげるため、工事費高騰に伴う事業計画の変更を見据えた上で活用することを見込んでいる。

*ECI方式とは…プロジェクトの設計段階から施工者の技術力を設計内容に反映させ、コスト縮減や工期短縮を目的とする契約方式。

他の質問事項
ゾーン30・ゾーン30プラスの取り組みの促進



永田 裕二
(新風会)



大場地区土地区画整理事業の現状と課題

◎ 中郷地域の発展を願う市民から大きな期待が寄せられ、三島市最後のフロンティアとも称されている本事業の進捗状況を伺う。

▲ 大場地区の土地利用については、これまでの積極的な取り組みが実を結び、令和5年4月17日に三島市大場地区土地区画整理準備組合が設立されたところである。今年度は、事業パートナーとなる業務代行予定者を選定し、令和7年度の市街化区域編入を目指していく。

しゃぎり(三島囃子)の継承・育成・発展

◎ 三島が誇る伝統芸能であるしゃぎりを継承、育成、発展させ、観光誘客に繋げるため、全演奏団体が集まるしゃぎり協議会が必要ではないか。

▲ 各団体が同様の課題を認識されていると承知しているの、三島市自治会連合会の山車委員会において、しゃぎりの継承、人材の育成等の課題について検討し、段階的に、その他の団体と連携していきけるよう、行政としてサポートしていく。





弓場 重明
(維新と無所属の会)



三島駅南口東街区再開発事業

Q 三島駅南口東街区再開発事業は破格の209億円規模だが、首都圏や大都市圏以外で成功事例はあるのか伺う。

A 再開発は災害に強いまちづくりや都市機能の集約により活性化を図るなど複合的な目的を持って進められる事業であり、成功の定義は多様であると考えている。地方都市においても、様々な要素から目的が達成されていると捉えている。

Society 5.0からみた三島市新庁舎建設計画

Q 新庁舎建設計画について、Society 5.0社会実現のための5つの戦略を盛り込むなら、場所や規模はおのずと決まると思うがどうか。

A 新庁舎は、規模を圧縮することから、手狭とならないように、施設の合理的な利用や、DX技術の活用でスペースを生み出し、利便性を確保する。将来的に余剰空間が見込まれた場合、コミュニティスペースなどに利用できるように、あらかじめ可変性を持たせる。



他の質問事項 三島駅南北自由通路の開通



横山 雅人
(新風会)



曇らないカーブミラーの設置

Q 冬場などの時期は、カーブミラーが曇って見えにくく大変危険である。今後、曇らないカーブミラーを設置する考えがあるか伺う。

A 通学路等安全対策会議において、小中学校等から提出された危険箇所について、関係機関と連携し、安全対策を検討している。毎年、寄付でいただいた比較的曇りにくい強化ガラス製のカーブミラーについて、会議で検討した危険箇所への設置を考えていく。



自主運行バスの今後の取り組み

Q 自主運行バスのさらなる充実のために、利用率を上げるべきと考える。利用率向上に向けた今後の取り組みについて伺う。

A コロナ禍以降、収支率が減少したが、今後は公共交通の利用者が回復することが見込まれるので、さまざまな施設での公共交通マップやチラシの配布や、自主運行バスの魅力や活用方法を広報し、SNSなどを積極的に活用することで、PRしていく。



岡田 美喜子
(新未来21)



小中学校の通学区域の弾力的運用

Q 通学区域が設定されているため、自宅から一番近い学校に通えない事例がある。通学時の防犯・安全面を考慮し、隣接校選択制を採用できないか。

A 学校は地域のコミュニティの核であり、学校の適正規模と地域との結びつきを軸とした通学区域制度を統一的に運用している。学校選択制は、平成17年度から通学区域審議会で継続審議が行われたが、平成27年に導入はしないこととして、審議を終了している。

公共交通の利便性向上に向けた取り組み

Q 佐野見晴台地域は路線バスが減便し、運転免許証返納者等から生活に支障をきたしているとの声を聞く。増便するための課題は何か。

A バス事業者は運転手不足に苦慮しており、増便することが難しい状況であると聞いています。さらに令和6年度からバス運転手の労働条件の見直しが行われる。今後、人材確保に向け、交通事業者と連携し、対策を検討していくとともに、地域公共交通の維持に努める。



他の質問事項 教職員の働き方改革の成果と今後の取り組み



高田 康子
(緑水会)



三島市公認のひとり親会の設立

Q 市内のひとり親で同じ思いの仲間を集めて助けたいという声に、三島市はどのような対応をするのか。

A 同じ境遇の方が助け合う仲間づくりは、ひとり親に限らず、子育てをしていく上では大切なことであるので、ひとり親の方々が自分たち仲間を会を設立するために相談があった際には、受けられる支援等について、情報提供していきたいと考えている。

新規のヤングケアラー支援推進事業

Q ヤングケアラー支援推進事業の概要はどのようなものか。

A 支援が必要な家庭にホームヘルパー等を派遣し、子どもが過剰に担っている家事や育児等の負担を軽減することにより、家庭や養育環境を整え、周りの子どもと同じように遊んだり、勉強するなど、子どもらしい生活を送ることができるよう支援していく。



他の質問事項 新規の子育て短期支援



沈 久美
(改革みしま)



旧西幼稚園跡地の利活用による住民福祉の向上と魅力創出

Q 旧西幼稚園は売却が示されてきたが、当市の方針が地域住民に知られていないことから住民不安が広がっている。見解を伺う。

A 廃園となる西幼稚園について、西部地区自治会連合会内で、統一見解が得られなかったことから、利用を断念するとの報告を受けた際に、売却したいとの市の意向を伝え、了承をいただいている。この経緯が、地域住民に十分に周知されなかったのではと推察する。



Q 公共施設の処分や再整備は最初に住民協働が図られることが理想ではないか。今からでも住民説明会が必要と考えるが予定を伺う。

A 西部地区自治会連合会での総意に基づいて、今後における地元への説明会については、処分の方針や手法が具体的に定まった段階で開催させていただく予定としており、このことについては、栄町自治会長にあらかじめご説明し、承認をいただいている。

他の質問事項 アメリカザリガニの条件付特定外来生物指定



石井 真人
(新風会)



大場川破堤に備えた新庁舎候補地の浸水対策

Q 候補地である南二日町広場に隣接する大場川が破堤した際の浸水対策費は約5〜6億円といわれているが周辺地域へのリスク対策を伺う。

A 市内の広い範囲に影響がある千年に一度の想定最大規模における約1.4mの浸水対応として、土留め擁壁、盛り土敷均し、国道1号線に直接つなぐ車路の整備等により一時的な避難場所としても利用可能となるため、地域住民の身を守る対策にも繋がると考えている。



ふれあい教室強化による教育支援センター化

Q いじめ・不登校対策としてふれあい教室に心理専門職を常勤で配置し、学校や保護者をサポートする教育支援センター化ができるか。

A 今年度よりスクールソーシャルワーカーを増員し、必要に応じてふれあい教室への派遣が可能となり、面談の機会を増やした。定期的な派遣等については、指導員と連絡を取りながら調整していきたい。今後国や県の動向に注視しながら研究していく。

他の質問事項 いじめ解消は事後対応に加え予防強化を



服部 正平
(日本共産党議員団)



学校給食費の無償化を求めて

利用者負担を求めている自治体は、学校給食法第11条に縛られていない。同法は給食費の負担を市が代わって行うことを禁じているか。

A 学校給食法第11条では、学校給食の実施に必要な施設および設備に要する経費は設置者である市が負担し、学校給食費については学校給食を受ける児童または生徒の保護者が負担するものとされている。市では法に基づき受益者負担を適正と考え、保護者負担としている。



自転車乗車時のヘルメットの規格

小学生低学年が使用する黄色いヘルメットは自転車乗車用ヘルメットの規格外品である。規格に適合させ、長期に使用可能な形状に変更することは可能か。

A 小学校1年生に配布している黄色いヘルメットは、夏場の暑い時期を除き、登下校や防災訓練において使用している。現在、配布しているヘルメットの規格や価格等を勘案し、登下校時用と自転車乗車用として兼用可能なヘルメットについて調査、研究していく。

他の質問事項
祇園原線歩道から出る赤褐色の溢水への懸念



土屋 利絵
(改革みしま)



買い物難民対策

買いたい物ができない方々のために、移動スーパーの事業展開を三島市としてバックアップできないか伺う。

A 日常の買い物に不便を感じている皆様に必要な情報とサービスが行き渡るよう、民間事業者の取り組みについて引き続き情報収集に努め、高齢者くらしの便利帳に掲載するほか、三島商工会議所とも連携し、より広く周知する方法を検討するなど、広報面での支援を行う。

災害時の動物との同行避難

スターターキット(動物を避難させるための資材)を各避難所に置き、ペットの同行避難がスムーズになる仕組みづくりについて伺う。

A 有識者の意見を伺いながら、避難所の実情に応じたわかりやすいスターターキットを備えられるよう、検討を進めていく。



他の質問事項
公立幼稚園公立保育園の統廃合



鈴木 文子
(公明)



HPVワクチン接種

公費接種期間が令和6年度で終了するキャッチアップ世代に確実に知らせるため、QRコード付きのハガキで個別通知ができないか。

A 令和5年度にさらなる個別通知を実施することは、市としても重要と考える。対象の方が家族と相談するなど、接種計画を立てやすいと考えられる夏休み前に、QRコード付きのハガキでキャッチアップ接種および定期接種対象者に個別周知実施を考えている。

災害時の命を守る取り組み

自衛隊災害派遣が必要な災害が発生した場合、原則原知事要請になると思うが、市と県の災害派遣の連携体制はできているのか。

A 市と県の間にはN.T.T電話回線とは別に、防災行政無線電話が整備されており、また、必要に応じて県から情報収集要員や市町支援機動班が派遣されることになっており、自衛隊の派遣要請が必要となった際の県との連携体制は確保されているところである。



他の質問事項
ヤングケアラー支援



佐野 淳祥
(緑水会)



新庁舎建設事業の候補地2つの選択

車に頼らないまち、来庁不要な市役所を目指す当市にとって、自家用車が減少する近い将来、駐車場は不要な財産とならないか。

A MaaSの普及で、自動車を自ら運転しての来庁者は減少するかもしれないが、新たに乗降や待合の場が必要となり、早い段階での駐車場削減は難しい。さらなる技術の進展により将来的に不要とならないように、民間活用も視野に入れた有効活用について検討する。

魅力ある歴史・文化で発展する三島をさらに

日本遺産「箱根八里」の誘客を進めるなか、沿線にある「塚原古墳群」は、重要な歴史的史跡であるが、今後の保全と活用を伺う。

A 塚原古墳群は、地域の貴重な文化財の一つであると考えており、現在作成を進めている三島市文化財保存活用地域計画のなかで、計画の対象とする文化財の一つに位置付け、市民への周知や観光資源としての活用について関係各課とともに検討していく。



他の質問事項
月1回の発行となる広報みしまの今後

議会の活動

- | | | |
|---|--|--|
| <p>4月</p> <p>23日 三島市議会議員選挙
24日 当選証書付与式
市議会議員当選者説明会
旧会派代表者等打ち合わせ会</p> <p>5月</p> <p>1日 新会派代表者打ち合わせ会
2日 初当選議員説明会
8日 新会派代表者打ち合わせ会
議会運営委員会
11日 春の全国交通安全運動
初日一斉街頭広報</p> | <p>15日 臨時会
各派代表者会議
17日 経済建設委員会
18日 福祉教育委員会
19日 総務委員会
20日 統一美化キャンペーン
25日 全議員説明会
30日 各派代表者会議
議会運営委員会</p> | <p>6月</p> <p>1日 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会・政策研修会
6日~22日 6月定例会
6日 各派代表者会議
本会議(議案審議)
議会だより編集委員会
14・15・16・19・20日 本会議(一般質問)
15日 各派代表者会議
議会運営委員会
20日 議会報告会運営会議
22日 本会議(議案審議)
各派代表者会議
23日 議会だより編集委員会
28日 議会報告会運営会議</p> |
|---|--|--|

議場見学にようこそ

市役所見学の一環として、三島市立山田小学校の6年生と、三島市立北上小学校の3年生の皆さんが議場に見学に来てくれました。



議員が座る議席に座って市役所や市議会のことを勉強しました。



三島市議会の議員は何人いるか分かる人~?

「定例会」と「臨時会」ってなんだろう？

議会には「定例会」と「臨時会」があり、定期的に開かれる議事を定例会、必要に応じて開かれる議事を臨時会といいます。三島市議会では、2月・6月・9月・11月の年4回定例会を開催しています。
定例会と臨時会はいずれも一定期間の会期が定められ、その会期中に「本会議」や「委員会」が開催されます。



「請願」と「陳情」ってなんだろう？



市民が市議会へ要望や意見を伝えることを「請願」・「陳情」といいます。
議員を通して提出するものを「請願」といい、議員を通さずに直接議会に提出するものを「陳情」といいます。
提出された請願・陳情は、原則的に定例会の期間外に担当の委員会で内容を審査し、その審査結果を次の定例会の本会議で報告します。その後、採択(賛同)・不採択(不賛同)を決定し、採択されたものについては、市長や教育委員会などにその実現を要望します。
請願・陳情はどなたでも提出いただけますが、各定例会ごとに取り扱う請願・陳情の提出期限は定例会初日の3日前(休みの日は含まない。)としていますので、提出の際は期限にご注意ください。

定例会のスケジュール



教えて！ 議会ってなあに？

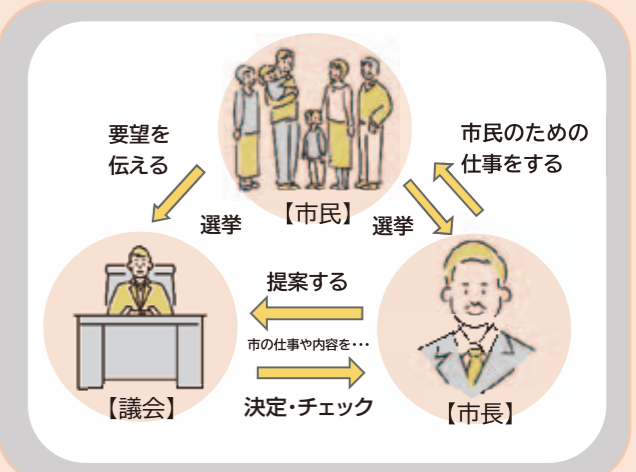


市議会では、市長や議員からの提案をもとに、市民の生活に関するさまざまなことを審査・決定しています。今回は市民の皆さまにより議会に興味を持っていただくために、三島市議会についてご紹介します。

「議会」ってなにをすところ？



三島市をより住みやすいまちにしていけるためには、市民全員で話し合い、意見を出し合う必要があります。しかし、市民全員で話し合うのは難しいため、「選挙」により市民の代表である「議員」を選び、話し合うことにしています。
市議会とは、「議員」が集まり、市をより良くするために話し合い、その方法を決めるところです。
市議会の仕事には、主に次のようなことがあります。
◇市のルール(条例)の「制定」・「改正」・「廃止」
◇市の予算をどう使うかを決め、その予算が正しく使われたかをチェックする
◇市の仕事が適正に行われているかをチェックする
◇国や県に意見書(こうしてほしいという意見)を提出する



議会のギモン

「本会議」と「委員会」ってなんだろう？

本会議とは、全議員で行う会議のことをいい、議案(議会の議決を得るために提出される案件)についての説明を受け、議員が質疑や意見を述べて賛成・反対を明らかにします。本会議での議決(議会の意思決定)が三島市における最終決定となります。
委員会とは、議員を少人数グループに分け、それぞれが担当する事項を詳細に審査するための集まりです。三島市議会には、「総務委員会」・「福祉教育委員会」・「経済建設委員会」の3つの常任委員会と、議会の運営について協議する「議会運営委員会」があります。また、必要に応じて「特別委員会」が設置される場合があり、これらの委員会は議会の閉会中にも開催されます。



あなたの写真を表紙に!! スマホでも!!

三島市議会では、市民の皆さまに議会の活動をお知らせするため、年4回（5/1号・8/1号・11/1号・2/1号）議会だよりを発行しています。
令和5年2月1日号にて募集しましたが、引き続き令和5年度議会だよりの表紙写真を募集いたします。下記の応募要項をご確認のうえ、ぜひご応募ください！

テーマ 私がみつけた三島の魅力

三島のまちがますます好きになる写真を募集します。
自然の風景や街中の写真でもOKです。



応募資格 三島市在住または三島市内に通勤・通学されている方。

応募規定 応募者（撮影者）本人に著作権があり、未発表のもの。
※応募は1人3点まで。応募者1人につき1点までの採用となります。

応募方法 以下のいずれかの方法で応募してください。

①電子申請：右記のQRコード、または市のホームページから応募フォームにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、**JPEG形式(5MB以内)**の写真データを登録してください。



②郵送：氏名・電話番号・写真タイトル等の必要事項を応募用紙*に記入し、写真店などでプリントした**L版横構図**の写真を三島市議会事務局へ直接持参、または郵送してください。
※応募用紙は、市議会ホームページからダウンロードしてください。
(郵送先) 〒411-8666 三島市北田町4-47 三島市議会事務局 宛

応募上の注意事項

- 人物が明らかに特定できる写真の場合は、必ずご本人様の了承を得てから応募してください。
- 編集上、トリミング加工やキャッチコピー、キャプションの挿入等を行う場合があります。
- 応募作品は原則としてお返しできません。
- 採用作品の著作権は応募者本人に帰属します。

※その他詳細は、市議会ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。



締切 令和5年11月30日(木) まで

9月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5 本会議 (議案審議)	6	7 常任委員会 (決算審査)	8	9
10	11	12	13	14	15	16
常任委員会 (決算審査)						
17	18	19	20	21	22	23
本会議 (一般質問)						
24	25 本会議 (一般質問)	26 (一般質問 予備日)	27	28 本会議 (議案審議)	29	30

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時からの開会予定です。
日程は変更になる場合があります。

新 議会だより編集委員会

議会だより編集委員会が新体制になりました。
新たに、委員長に河野月江議員、副委員長に村田耕一議員が就任し、今後は計7名で活動していきます。

編集委員会
一同、これからも分かりやすい議会だよりを目指し、市民の声を大切にしたいと思っております。

(副委員長) 村田 耕一 (委員長) 河野 月江
宮下 知朗 永田 裕二 本間 雄次郎 沈 久美 高田 康子

三島市議会の会派をご紹介します

会派とは、同じ考えや意見を持った議員のグループです。
現在、三島市議会には7つの会派がありますので、各会派の構成議員と理念をご紹介します。



(後列左から秋山議員、古長谷議員、藤江議員
前列左から土屋議員、沈議員)

改革みしま

郷土三島をこよなく愛し、市民生活の安定と福祉の向上、市政の発展と市民自治の確立に向け、議員個々の活動を尊重し、自由と民主の標の基、果敢なく議会改革を進める会派である。



(左から川原議員、岡田議員、宮下議員)

新未来 21

市民の皆様との会話を大切に、常に是々非々の姿勢で、行政の監視と政策提言に努めて参ります。
1、安心・安全に出生・子育てができる、誰もが住み慣れた地域で、自立して自分らしく、いきいきと暮らし続けることができるよう、教育・福祉の拡充を図ります。
2、防災・減災対策や防犯対策、交通安全対策等を強化し、安心・安全な地域社会の構築を図ります。
3、三島駅南口東街区の再開発や企業誘致、観光振興、移住・定住の促進等、地域の活性化を図ります。
4、自治体DXの推進や時代に即した新庁舎の整備、公共施設の最適化等を推進し、行政の効率化を図ります。



(左から甲斐議員、野村議員、高田議員、佐野議員)

緑水会

政治は市民のものであり、民生を安定し公共の福祉を増進し平和の諸条件を確立することにある。われわれは、市民とともにその責務を全うすることを旨とするものである。
常に創造の努力を払い、過去及び現在の制度機構の中から健全なるものを生かし、無用なるものを除き社会的欠陥を是正することに勇気であらねばならない。
緑水会は民主政治の大道を歩むにあり、個人の理由と人格の尊厳を社会秩序の基本的条件とし三島市の発展に、邁進せんとするものである。



(左から石井議員、横山議員、永田議員)

新風会

新風会（しんふうかい）は三島市議会に新しい風を吹き込む新人議員が中心に立ち上げた新しい会派です。
一人一歩勉強をする会派として、多方面にネットワークを拡げ、情報を収集し、関係団体と連携して、市民の皆様が安心して暮らせる三島を目指します。
皆様とともに、よりよい三島にしてまいります。



(左から堀江議員、鈴木議員、村田議員)

公明

立党の精神「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との指針のもとに常に生活の現場に入り込み、市民一人一人の暮らしの困りごとなど小さな声にも耳を傾けて地域の方に寄り添う活動を行って参ります。市政においては少子高齢化や人口減少などこれから生きる多くの課題がありますが、市民の皆様により希望を持って暮らしていただけるよう皆で団結して知恵を出して参ります。そして未来に向けて環境にも人にも配慮した街づくりを目指して参ります。



(左から服部議員、河野議員)

日本共産党議員団

わたしたち日本共産党議員団は、市民が誰一人取り残されることなく個人として尊重され、誰もが安心して住み続けられる三島市をめざしています。日本国憲法の5原則(1)国民主権と国家主権(2)恒久平和(3)基本的人権の尊重(4)議制民主主義(5)地方自治―が守られ、その理念が市政と市民の暮らしの隅々に生かされることを追求し、「住民こそ主人公」の立場で小さな声もまっすぐ市政に届けます。
国による医療・介護・社会保障費抑制政策のもとで市民の負担増、受給額やサービス削減が続く中、三島市が住民の最も身近にある行政として「公助」の役割を十分発揮し、何より市民の「命とくらし」の守り手となるよう、住民運動と力を合わせてとりくみます。



(左から本間議員、弓場議員)

維新と無所属の会

私たち、維新と無所属の会は世代や党派を超越した幅広い市民の皆さまのご意向とご意見の集約、政策反映に努めて参ります。おひとりおひとりの多岐にわたる課題に対しても、皆さまと共に真摯に取り組み参ります。
また今後、人口減少が避けられない中、三島市のみならず、近隣市町との広域的な連携は非常に重要です。静岡県東部において、三島市が先導的役割を果たすために、何が求められているのかを、常々調査研究し、活動して参ります。

あなたの声が 聞きたい

北田町(現所在地)
or
南二日町広場

テーマ 三島市役所の建て替えについて

三島市では、
・建物の老朽化
・庁舎機能が分散

などの理由から、新庁舎整備の計画を進めており、令和13年度の新庁舎供用開始を目指しています。

市議会においても議員の意見を集約し、市長に提出したいと考えております。そこで、今年の議会報告会のテーマを**三島市役所の建て替え**とし、会場での意見交換会形式と、YouTubeで動画を配信し、電子申請で意見聴取を行うWEB形式の2つの方法で開催します。

お好きな方法でご参加いただき、ぜひご意見・ご感想をお寄せください！！

会場で

次の日程で開催しますので、お気軽にご参加ください。会場準備の都合上、参加される方はあらかじめ下記のQRコードからご登録いただくか、議会事務局(055-983-2600)までご連絡ください。当日飛び入り参加も可能です。

日付	時間	場所
8月24日(木)	19時30分～21時	市役所本館 3階 第一会議室
8月25日(金)	10時～11時30分	北上文化プラザ (三島市萩312)
8月26日(土)	14時～15時30分	中郷文化プラザ (三島市梅名353-1)
8月26日(土)	19時～20時30分	錦田公民館 (三島市谷田(並木)973-1)

参加申込は
こちらから！



WEBで

YouTube(三島市議会公式チャンネル)での動画配信と電子申請による意見聴取を行います。

動画配信等は8月22日～27日に行います。ぜひご覧の上、ご意見をお寄せください。

詳細は三島市議会
ホームページで！

議会報告会に関する情報を随時更新していきます。

